

A
I
L

過去にする
氣功ビーリングを

氣功師・霊能者
泉 皇導

◆まえがき	6
◆第一章 気功・ヒーリングについて知る	13
◇氣功・ヒーリングの発祥	2
◇「氣功・ヒーリング」を知る	16
◇氣功・ヒーリングというものの危うさ・未成熟さ	27
◆第二章 「氣功・ヒーリング」その正体	31
◇寿命を対価に人を治す靈的存在	39
	47

◆ 第三章 日本に200人居る、本物の氣功師・ヒーラー	57
◇ 阿字觀について	62
◇ なぜ低レベルな氣功・ヒーリングでも治るのか	66
◇ 偽者の氣功師・ヒーラー	77
◇ 本物の氣功師・ヒーラーについて	80
◇ 本物の氣功師・ヒーラー 初代 泉 皇導	89
◇ 本物の氣功師・ヒーラー 某東京都のヒーラーさん	95

◆ 本物の気功師・ヒーラー・氣功で整骨するお爺さん	100
◆ 本物の気功師・ヒーラーのなり方	104
◆ 第四章 本当の氣功・ヒーリングの使用方法	115
◆ 第五章 „古い“ 氣功・ヒーリングはやめろ	125
◆ 第六章 千泉界・センゼンカイについて	136
◆ 千泉界の特殊な入会案内と入会後セッション	142
◆ 第七章 次世代のA.I.ヒーリング術「八咫沙(ヤタシヤ)」	148
◆ 八咫沙(ヤタシヤ)のA.I.的な仕組み	153

◆八咫沙(ヤタシヤ)の対処サイクル164

◆八咫沙(ヤタシヤ)の使用方法173

◆第八章 「八咫沙(ヤタシヤ)」が対処可能なものの177

◆第九章 気功・ヒーリングの未来187

◆あとがき196

◆著者紹介211

◆関連ウェブサイト215

◆まえがき

靈能者占い鑑定所 神氣界へシンキカイ＼およびオンラ
インサロン「千泉界へセンゼンカイ＼」代表の泉 皇導＼イ
ズミ コウドウ＼と申します。

私は氣功師・靈能者であつた故父の後を継ぎ、二代目
として日々、ヒーリングや氣功の実践を行っています。

「氣功の実践は早死を招く」と先代の父は明確に言い続けっていました。そしてその言葉の通り、不慮の自動車事故により早逝をしています。

「氣功・ヒーリングを行う人は突然の早死にする」というのは、私のみならず全ての氣功師・ヒーラーが「絶対に生徒や顧客には言わない」周知の事実です。私はこの場をお借りして、そのことを明確にお話したいと思い

ます。

調整を目的とした風変わりな術を行うごくわずかな施術者を除き、気功師・ヒーラーはその「死」から逃れることはできません。

また、「不思議に人を治した分、不思議に早く死ぬ」というのは、意味の分かる話です。

肉体労働者が人よりも身体を早く壊し、心理カウンセ

ラーが精神を病みやすく、パソコンで多く仕事をする人が目や肩を病みやすい、というのと同様のものになります。

私は父から神氣界へシンキカイの看板を引き継いで気功師・ヒーラーとしてこの仕事をするに際して、「人を治したい」という想いと「早死にはしたくない」という二つの考えを持っていました。

これは私が人間であることで生まれる、至極真っ当なものと感じます。

そこから私は長きにわたる開発期間を経て、従来のヒーリング・気功とは全く違う概念の „死なないヒーリング“ を、更に「A I (ChatGPT4 などに代表される人工知能)」「クラウド（多数の人が同じ仕組みにつながるインターネットサービスの概念）」の双方をモチーフにし、独自開発し完成をさせました。

本著では、気功・ヒーリングのかいつまんだ歴史からお話し、また従来の気功やヒーリングをなぜやめるべきであるのかを語り、後半には私が開発した「A.I.」をモチーフにした次世代型のヒーリング術についても解説します。

また本書は通常の文庫本の四分の一程度の読みやすいボリュームになっています。

全てを読み終えた時、あなたが氣功やヒーリングの未
来について感じ取つていただければ幸いです。

オンラインサロン「千泉界」

霊能師占い鑑定所「神気界」

代表 泉 皇導

◆第一章

氣功・ヒーリングについて知る

あなたは「氣功・ヒーリング」にどのようなイメージをお持ちでしょうか。団体や流派やブログなど「誰が語つたのか」に応じ、その理解している「氣功・ヒーリング」の何たるかがそれぞれ違うのかと思います。

一言に「こぶしで戦う」といっても、ボクシングなのか空手道なのかでジャンルが細分化されており、どれに重きを置く人なのかによつて想像するものが違うのと同じ

です。

まずはあらためて「気功・ヒーリングとは何か」、その発祥から解説します。

◇氣功・ヒーリングの発祥

日本国内で一般的に言われる氣功・ヒーリングとは、自然や大気や宇宙などにあるエネルギーや、自身の中にいるエネルギーを用いて、手のひらを通して相手へ流し込み、病気の治癒を狙う施術になります。

その原点は、中国の伝統医学から発祥したものになります。

元は太極拳のような全身動作により身体のエネルギーを調和させ健康になることを目的としたものになりますが、歴史とともに一部で「手をかざす」「手で触れる」ことによるエネルギー施術のようなものに発展していきます。

健康大国の中国において「目に見えない力が健康につ

ながる。根拠は中国の医学理論」という中で、氣功は現代まで広がり続けています。

その中国の氣功が世界中に飛び火する中で、「本来の氣功」であるはずの太極拳のような動作をする氣功がなぜか失われ、ごく一部で行われているはずの「手をかざす」

「手で触れる」というエネルギー施術としての氣功が中國国外での氣功の定義になりました。

また、海外ではその「手をかざす健康法」という概念を「ヒーリング」と名付けるに至り、現代では主にキリスト教圏で今も広がり続けている様子があります。

私の知る限りキリスト教では、「イエス・キリストは、目が見えない人を目が見えるようにし、耳が聞こえない人を聞こえるようにし、皮膚病の人をたちどころに治した」などの奇跡を実際のものとして伝えていました。

そのため、「手をかざしたら人が治る」という普通に考

えればオカルト的で受け入れがたいような概念でも、キリスト教の信者であれば誰もが自然に信じることができるとして、海外でその「氣功」が“西洋式”としてなぜか姿を変えて芽吹いたことが考えられます。

近年では故ステイーブ・ジョブズをはじめとした海外セレブが「禪」を実践しているなどの話はありますが、この50年間である程度変化する前の東アジアの世界的な地位の低さからか、果たして「氣功(チーコン[中國語読み])」

と呼ばれるようなことはなく、どちらかと言えば「イエス・キリストのような奇跡を目指す」というものとして、「ヒーリング」という名称で独自発展を海外でしてきたものと私は考えます。

対する日本において、氣功やヒーリングの認識はテレビの影響を強く受けます。テレビの普及率が60%を超える1960年からインターネット普及までの2010年

まで、メディアの影響が世間の常識となる時代が長くありました。その中で特に1990年代は、テレビが「数字が取れる」として、気功やヒーリングの実践を放映しており、それにより世間での認知が加速されていったと考えられます。

ただし、ある事件により、テレビでの放映がほぼ皆無となってしまいました。それは新興宗教団体が犯した日本史上最悪の犯罪でした。「空中浮遊ができ奇跡が起こせ

る」と主張した彼らは、爆発的に信者を獲得し、社会を混乱させるに犯罪事件に至りました。その影響で、メディアは「根拠がないオカルトは放映しない」というポリシーを採用したのです。

以降、私の父をはじめとした「氣功ができる」という人や「氣功を教える」という会が草の根活動で日本国内で水面下に広まり続け、インターネット社会への変化により一部の人気が受け入れるものとして、本著の出版される

2023年現代まで至ります。

日本国内では厳密に言えば1850年代から（中国ルーツの氣功を知つた方とは思いますが）「手をかざして人が治る」とする人物が新興宗教の教祖になるケースが多く発したため、その時期から1990年までの氣功・ヒーリングの施術者を第一世代と定義できます。

また1990年代のメディアの影響から「氣功」「ヒー

リング」に触れたした世代を第一世代とし、2010年以降、草の根活動やインターネットのコミュニティ等を介して広まってきた「二大ヒーリング団体」とも言えるヒーリング団体に触れた方々や、インターネット等で知った氣功師に施術を受けたり、施術者になつていった方々を第三世代として定義できるかと思います。

かくして、中国で発祥した「気功（チーコン）」はその

定義を文化や宗教により変え日本や海外に伝播し、私達の知る「氣功（きこう）」や「ヒーリング」として現代まで連綿と繋がってきたのだと考えられます。

◇「氣功・ヒーリング」を知る

現代の日本の氣功・中国氣功・西洋的なヒーリングは、団体や流派、我流や新興宗教団体固有の方法論までと多種多様にありますが、基本的には一つの考え方に基づいています。

その一つの考え方とは「自分が自分以外からのエネルギー

ギーを操作し他人に流す」というものです。

日本式の気功では「外氣功」といえば外からのエネルギー（大気や自然エネルギーや宇宙のエネルギー）を自分を経由して他人に流すという考え方と、「内氣功」という、自分自身のエネルギーを他者に流す方法とが混在している傾向があります。

中国式は「内氣功」の方がどちらかと言えば多く、また

西洋式のヒーリングは「外気功」がかなりの派閥を占めています。

施術者がどの程度のレベルなのかによつてその効果は変わりますが、私はどちらも使えるというプロの観点から、内気功なのか外気功のかによつて、どちらも効果や優位性は変わらないと断言します。

ただ、体力氣力の消耗度で言えば内気功の方がわずかに高い傾向はあり、外気功の方が施術者のイメージ力や

親和性により習得が困難な傾向があるというのが実際か
と思います。

あとは医療的な知識に基づいて行なつたり、そのエネ
ルギー自身への造詣が深いかどうかによつて対処レベル
が変わるものもありますが、源流としては間違いなく「エ
ネルギーを流せばなぜか治る」という大雑把な概念に基
づいているのが氣功・ヒーリングになります。

◇氣功・ヒーリングというものの危うさ・未成熟さ

「目に見えないものを取り扱う」という時点で氣功やヒーリングを学んだり理解したり、教わつたりすることには無理があります。

また、批判を承知で正直に言えば、現代の氣功・ヒーリングというのは解体新書が出る以前の江戸時代以前の日

本の外科医療と同レベルの、極めて古めかしく未成熟で怪しいものでしかありません。

その理由は、「観測手段を持たない人が方法論を構築したもの」であるからです。

「観測手段がない」というのは、医療で言えばX線検査やMRIやエコーが無いのと同等かそれ以下の、極めておそらく無意味なものと言つても過言ではありません。

靈的な観測手段を持たない人間が構築した氣功やヒーリングの方法論というものは、要は「このようなエネルギーがある（ようを感じる）」「このようにすればエネルギーが受け取れる（感じがする）」「このようにすれば人が治つた（と言われるから治るんだろう）」という、極めて場当たり的な検証に基づいています。

また、氣功の対象は何も頭痛・肩こり・腰痛などだけで

はありません。

脳や神経にまでアプローチを行なうのが、今や当然のことのようになります。

それらが本当に実際に行えるかどうかはさて置き、もし悲惨な事故が起こった場合「気功・ヒーリングの能力」というものを医学的に検証して法廷で証明しなければ、被害者は裁判に勝つことが限りなく不可能なのではと私は考えます。

脳や神経に対するアプローチで何らかのミスが起こつた場合にあり得るのは、重度の言語障害や半身不随、意識の停止などの最悪の症状です。

つまりは、あやふやな観測手段であやふやな能力を使用することの恐怖感を施術者や教育者はきちんと感じるべきで、また、施術を受ける側もきちんとその部分を理解すべきなのだと私は強く感じます。

気功やヒーリングは間違いなく実在のものですが、勘のみで取り扱う施術者があまりにも多すぎます。その数は限りなく100%に近いと言えるでしょう。

後述する「ある理由」により「悲惨な事故」というのは基本的には100%起こり得ないはずです。しかし、何度も繰り返しますが気功やヒーリングは「脳や神経」へのアプローチを行なうのです。

それだけの責任重大で危険で超高難易度なものを、ファンション感覚で取り扱い広めている人間が数多くいる事がまずあり得ないのだと言えます。

幸い私や先代は、霊能者として「観測手段を持つ」ことを特徴とした氣功師であり、病理やメカニズムに基づいた対処や分析を詳細に行なう能力があるため、その危険性を理解し適切に取り扱えている側の人間になります。

が、そうでもない方は、教わってでも通常の気功・ヒーリングは取り扱うべきではありません。

仮に今までに気功やヒーリングでマイナスの事象が何も起こらなかつたとしても、根本的な気構えとして「最大級の危険度を伴うものを取り扱っている」と考え、執刀医がメスを握るのと同様に、慎重に向き合うべきだと言えます。

◆第二章

「氣功・ヒーリング」その正体

歪曲した言い方ですが、「人間の身体をエネルギーなど
という目には見えない不明瞭なもので治療する」という
のが氣功・ヒーリングの事実で本質なのは確かです。

例えば肩こりを完治させようとすると、通常「頸椎も
しくは延髄部の神経の圧迫やねじれの解消や諸問題の解
消（もしくは過度の精神的な緊張の解消）」というロジッ
クが必要です。

これは0・2ミリ程度の骨への施術のズレがあつた場

合、下半身不隨などの重篤な身体症状が起こつてもおかしくないものになります。

このことは鍼灸あん摩マッサージ指圧師やカイロプラクター、あるいは整形外科の医療人などの間では常識の話だと思われます。

過去にはカイロプラクティックの施術により麻痺や痺れが起こつた人が訴えを起こした事例が多数あり、また、

海外では頸椎への施術を原因とする死亡事故なども報告されています。

ところが、氣功・ヒーリングを習得する人のうち、日本に“推定200人”と言える「実際の効果が出せる氣功師・ヒーラー」は上記をノーリスクで、微細な間違いによるしびれを出すこともなく治癒ができます。

“その時、何が起こっているのか？”

ある人は「自然治癒力が」と考えます。自然治癒力は肩こりを治しません。

自然治癒力で治るというのはイコール「放置して治る」と同義です。放置しても基本的には多くの身体症状は治りません。

またある人は「エネルギーが流れたから身体が良くな

つたんでしょう」とも考えます。

今までどこかの団体に所属して学んできたヒーラーの方はこのような考え方かもしれません、これもまた不正解です。

これは非常に説明が難しく高度で信じがたい話になりますが、読者のあなたが、著者であり靈能者の私を信じてくださるという前提でお伝えいたします。正解は「靈

的な目に見えない存在がエネルギーを受け取つて施術を代行する」ということなのです。

「気功・ヒーリングは信じるけど神仏や目に見えない靈的な存在というものは信じない！」という方もいるかも知れません。

しかし神・仏・先祖が実在しているというのはまごうことなき事実であり、草木に何かが宿っているのも事実

です。

これは私が氣功師である以前に靈能者であることから理解しているものであり、根拠も論拠も無い話になりますが、この先を読み進めるに際して読者のあなたには最も信じていただきたい部分です。

◇寿命を対価に人を治す靈的 existence

読者のあなたからすると、本頁が本書で最も受け容れ
がたい話となるはずです。そのためワンクッシュヨン置い
て書いていきたいと思います。

私が本物の氣功師であり靈能者であるのかどうか、イ

コール、事実を言う人間なのかどうかというのは本著の末尾にある「1..1ヒーリングセッション」の案内よりご予約をいただければ、身体症状を有する方であれば無料で個別に明確な証明ができることになります。

それは先の話として、ここでは一旦仮でも構いません。

これからお伝えする内容を一時的でもよいですから、まずは100%信用してください。

さて、基本的な話ですが、世界には「寿命や人生の幸福度を対価に人を治す靈的 existence」というものが存在します。

この存在は人が「この人のこれを治したい」という想いを持つことを観測し、その願いが強く、かつ「治る」という確証が著しく強い場合に「治す」という結果を“代行”してもたらします。

靈的な存在である事を理由として、エネルギーを使用

しての人体への施術や影響等に完全な理解があり、数百年、人体を治すことを研究してきた存在です。

これが「実在する」「手を貸していただける」というのが氣功・ヒーリングにおける最終最奥の真理であり事実です。

もしあなたが、このことを疑うのであれば、もう一度考えてみてください。0・2ミリの頸椎のズレが半身不

隨に至るという針穴を通すような世界観の人体への施術において、これを曖昧な知識で観測手段もないのに、「頭上の向こう側にあると言われた何かよく分からないエネルギー」などというあやふやなもので完治をさせる、というのは人間の感性では100%無理不可能ではないでしょうか。

かえつて、医療人を超えるほどに人体治療に詳しく、

エネルギーを観測することも自由自在に操ることもできる、あらゆる治療に対する研鑽と検証を長年重ねてきた「何か」が代行している、と考えたほうがまだ自然ではないでしょうか。

つまりは、目隠しをして両手に分厚い手袋をした人間がメスを持つて手術をするのと、そうではない他人がこつそり手術をするのと、どちらの方が成功率が高いのか、

という話です。

言い替えれば、「治療費はもらうけど治してやる」と、
そういうふた存在が居るのであります。

その「寿命や幸福を対価に人の願いを叶える靈的な存
在」の正体は、世界的に見て一つでしかありません。呼び
名や言い方は様々ですが、対価ありきで願いを叶えると
いうのは「悪魔」でしかありません。

悪魔というとただ単に邪悪で恐ろしいと感じる方が 100% に近いと思いますが、西洋では「対価ありきで願いを叶えようとしてくれるのだから、神よりも救いをもたらす」という考え方もある存在なのです。

機能としては、100円を自動販売機に入れて100円分の飲み物が出てくる、というのを行ってくれることに同じく、非常にフェアな存在で、かつ、穢れてもいなければ恐ろしくもなく悪でもなく暴力的でもない、ただ「価

値の等価交換」をするだけの存在になります。

ちなみに私は悪魔崇拜者でもなんでもありません。ただの敬虔な神道徒で仏教徒です。

なんでしたら、どちらかと言えばそのようなものの力は借りたくないと考える派の人間です。

しかし、そのような靈的存在が居て「氣功・ヒーリング」をファンタジーではない実際の物に成立させてきた

というのは事実で、私も過去に多少お世話になり、そのため寿命を少し切り取られているというのもまた事実になります。

◇セントアーリングとグラウンディング

靈的存在は、治療ができないとしても「自然や宇宙などからエネルギーを貰っていくだけの人」からも対価を請求していきます。

多くのヒーリング団体では「セントアーリング（宇宙や高次元などの上と繋がる）」「グラウンディング（地球など

の下と繋がる)」と言つて、エネルギーをよそから貰つて
くることや、不要なエネルギーを捨てる方法を推奨して
います。

これは不思議なことに “本当にできている” 方が大半
なのですが、「人様の井戸から水をもらつて対価を支払わ
ない」「人様の井戸に汚水を流して対価を支払わない」と
いうのもまた、井戸の主からすると理不尽な話です。(井

戸がどれだけ広くて深くても、（です）

当然そこでも上記に書いたのとは違う靈的な存在がや
つてきて、「お代」を徴収していきます。ここでのお代は
寿命ではなく「幸福度や実際の幸福」です。

セントアーリングやグラウンディングを長年やり続けると
目が吊り上がり、身内を罵倒し罵倒され、他人から理不
尽を受けることになります。

ご自身のエネルギーはキレイになるかもしませんが
「エネルギーがキレイ」にどれほどの価値があるのでしょうか。

水素水よろしく非科学的健康法的な何かであると信じてセンタリングやグラウンディングを行つている方には申し訳ないのですが、これも今すぐに「やめろ」と私が主張するものになります。

目に見えないからといって意味の分からない方法論を作り人も教える人も、目に見えないからといって意味の分からぬい方法を取る人も、今すぐにやめるべきです。

◇阿字観について

少し脱線しますが、センタリングとグラウンディングの話が出ましたのでこちらも紹介したいと思います。

仏教の一派である真言宗（高野山真言宗など）に伝わる「阿字観（あじかん）」という瞑想はセンタリングとグ

ラウンディングと似て非なるものですが、近いと言えなくはないもので、かつリスクが一切無くメリットすらありますので、そちらでしたら私は推奨できます。

これは宇宙の始まりを現す一文字「阿」と繋がり、己の意識を宇宙規模に拡大させ、そこから縮小させ着地するという壮大な瞑想修行になります。

メリットは仏教的なニュアンスでの浄化と、および自身の存在力の強化になります。

この「自身の存在力の強化」により、「人に敬意を持たれ軽んじられない」という状態に、繰り返せば繰り返すほど近付いていきます。

人に敬意を持たれ軽んじられない状態とはつまり、全ての悩みの解消に近付くということになります。

これは仏教的な修行という捧げる行為を対価に、仏様がこたえて下さるというものになるため、修行をする時

間や労力以外のリスクはなく、メリットしかありません。

ただし、タイマーをセットしないと意識が瞑想に向こう側に溶け込み、帰つて来れなくなる場合（要は瞑想中に意識をなくしてそのまま死ぬこと）がありますので、一回につき20分間に留めておいて下さい。

◇なぜ低レベルな氣功・ヒーリングでも治るのか

「寿命や幸福を対価に人の願いを叶える靈的な存在」の話に戻します。

あらためて、氣功・ヒーリングが実際のものであつて事実と信じている読者の方に私は問いたい。

「なぜそのような意味不明な理論だけで治ると信じてい

るのか？」と。

実際に病気などに作用する氣功・ヒーリングを使用で
きている方も本著の読者にはいらっしゃると思いますが、
「医者ほども詳しくなく」「レントゲンほども見えず」「教
わつたにしても感覚的な話が多く理解が追いついていな
い部分も多い」というのが正直なところかと思ひます。

仮に手術にたとえると、それほどによく分からないな

がらも「なぜかメスが握れて手術ができるて病巣が摘出できる」というのと一緒の話です。

「カイロプラクティック（骨をボキボキやる施術の民間療法）の真似事をして肩こりが治せた！」ということもあり得ない上、恐ろしくリスクーなのも理解できますでしょうか。「治れと思つてやつたら治る」など、こんな意味不明な話は無いのです。

私もこの“古い”気功・ヒーリングを使用していた際は、「医者ほども詳しくなく」「レントゲンほども見えず」「教わったにしても感覚的な話が多く理解が追いついていない部分も多い」という状態で、杖をついた人を杖なしでスキップして歩けるようにし、頭痛肩こり腰痛などは例外なく簡単に癒やし、顔面神経麻痺で入院中のの人を完治させ、病氣という病気に「なんでもかかつてこい」と感じていました。

なんでしたら、自分に眠つていた謎の才能によつて、ロジックが不明瞭ながらもなぜか治せてしまうのだと信じていたほどです。

今だから言えますが、こんなことはあり得ません。

頭痛肩こり腰痛は頸部から腰部の骨のねじれや筋力不足から来る神経症状が多く、杖を突いている人は神経症状から痛みがあるかもしくは筋力不足か姿勢やボディバ

ランスから影響がある場合や事故由来の場合が多く、顔面神経麻痺はケースバイケースながら過度なストレスが原因の場合が多く基本的には脳・精神に原因があることが考えられ、など……。

全てには「病理（びょうり）」という「病気になつている一連の流れ」というものがあり、それらを分析・解析・ヒアリングし、その原因に関わるものを持つ一つ治していくことでしか治せないはずなのです。

医療は少なくとも「分析」と「対処」でできています。

鍼灸師もマッサージ師もカイロプラクターも触診や観察からしか“あまりにも危険すぎて”施術が行えません。

ところが、少なくとも8年前以前の過去の私はそれこそよく分からぬままに、それこそ先代の泉 皇導の真似で「えいや」で多くの症状を治させていたのです。

こんな馬鹿な話はありません。

そんなことがただの人間にできるはずがありません。

ゆえに、氣功やヒーリングが使える人も、学んだ人も、この一点だけは信じた方が良いと私は再度お伝えしたい。

「悪魔がいて、寿命や幸福を対価に治す」と。

そうでもなければ説明が付かない部分があるのは明白

です。

また事実そうであると、気功師と霊能者の双方として
17,000件以上の鑑定実績を持つ私は知っています。

悪魔だなんだと信じる信じないは読者のあなたに判断
を委ねますが、「危険なはずなのに危険ではなく治癒治療
ができる手段」というものは、あり得ません。

まとめますが、気功やヒーリングで治つたというのは、

「あなたが治した」のではなく、「あなたが支払った対価に応じて、病気の治療に究極的に詳しい靈的 existence が動いたから治つた」というのが事実です。

靈能者占い鑑定所 神氣界の29年間での計32,000件超の鑑定実績、二代に渡る威信をかけて再度言います
が、これが事実であり真理です。

ゆえに私は「こんな恐ろしいものはやめろ」と主張しますし、「氣功・ヒーリングはやめろ」と主張をしていま

す
。

◆第三章

日本に200人居る、

本物の氣功師・ヒーラー

日本国内には、入れ替わりはありますが、この15年の間で、推定200人程度の「本物の氣功師・ヒーラー」が存在しています。

「氣功・ヒーリングで人が治る」「氣功でがんが治る」は、私から言わせればファンタジーではありません。

「本物」とは、「ラシーボ効果（効いた気がして治るも）」「エネルギーがなんかあたたかい」以上の変化がもた

らせる気功師・ヒーラーのことだと私は定義します。

頭痛・肩こり・腰痛が治せたらそれはもう本物です。

逆にそれさえできなければ、どう吠えようがどう工夫して講釈を垂れ流そうが私からすれば「偽者」です。

◇偽者の氣功師・ヒーラー

私はかつて7、8年ほど前、今現在でも最大派閥と言える某ヒーリング団体のうち、開祖の一番弟子だか二番弟子だかの孫を名乗る、権威ある（らしき）ヒーラー先生の元に行き、初回のセッションを受けた経験があります。料金は10、000円でした。

結果、「ありがたい宇宙エネルギーで淨化して運気が高まつて靈的な格が上がつて」などのくだらない話を語られ、2時間ほどが経ちそろそろ暇になってきた私は、ヒーラー先生が別室に行つている間、目の前にいた助手の女性の方に「何か身体症状はありませんか?」とお聞きしました。

「いつも頭痛が有つて困っているんです」と言われ、私が、

「ヒーリングを多少かじつているので、今の痛さを覚えておいて下さい」

としてヒーリングを3分行ないました。

結果、

「あ！　まつたく痛くない！　すごい！」

と言われましたので単純に疑問に感じ、

「ちなみに先生は治してくれないんですか？」と聞きました
したら、

「はい、今度やるって言つてずっとこのままなんです。

なんででしょうね」

と言われました。

その時、私は「治つてよかったです」などと笑顔で話

していましたが、帰宅後にふと、「ヒーラー先生＝無自覚な詐欺師」「助手＝その無自覚な詐欺師に騙されて片棒を担がされている可哀想な人」という構図が頭に湧いてきました、そこそこの支払いをしたことも相まって、ふつぶつと怒りを湧き上がらせたことを今でも覚えています。

それ以来、私は「語る前に治せ」と考えるようになりました。「何も治せないのであれば、それは気功でもないしヒーリングでもない」と考えるようになりました。

このような実体がないものを氣功・ヒーリングと定義している施術者や教育者から、もしもあなたが施術を受けている場合は、今すぐにやめるべきです。

やはり氣功師・ヒーラーにも「偽者」は存在しています。日本の氣功・ヒーリング人口は個人的な推定だと20,000人。そのうち200人のみが私の定義する本物とすれば、つまりは偽者が99%に近いのだと言えます。

偽者なのは単に無害ですが、お金を取るのは害です。

皆さんのがペットボトルの水を100円で購入した場合、中身に「水」という実体があることでその価値を受け取ることができます。

しかし気功・ヒーリングの施術やその学習に果たして「実体」があるのかをよく考えなければなりません。

「実体」とは、治せるのか、治せるようになるのか、いざれかでなければなりません。

その2点から、施術をする人も施術を受ける人も、ヒーラーとしての教育を受ける人も絶対に逃げてはなりません。

読者の皆さんの中身の入っていないペットボトルを10、000円で購入させられたに等しい私のようになつてはいけませんし、実体がないものに価格をつけて売る側にもなつてはいけませんし、その助手さんのような可

哀想な立場になつてもいけません。

そうなるぐらいであれば、今すぐスピリチュアルの全
てから足を洗つて水泳やテニス、釣りや料理など、健康
的な趣味でもはじめることをお勧めしたいです。

◇本物の氣功師・ヒーラーについて

私を除く、本物の氣功師・ヒーラーは実在しています。

ここでは、私が人生で出会った（又聞きを含む）3名の本物についてお話しします。

◇本物の氣功師・ヒーラー 初代 泉 皇導

先代の、私の実父です。客観的に推測し、身内の欲目を除いても当時のその200人のうち3位以内に、私の実の父である先代の泉 皇導ヘイズミ ヨウドウ／＼は入つていたのではないでしようか。

累計約15、000件の実績うち、95%は気功師としての施術でした。私が覚えている範囲では、次のケースがありました。

- ・重度のリウマチでほぼ身体が動かない一級身体障害者の寝たきりの女性を、一度の施術で身体が完全に動くまでにし、その数ヶ月後には車の運転が可能になるまで回復させたケース（後に先代からお客様として引き

継いでいます。治った本人も仰っていましたが事実です)

- ・こぶし大の癌を3週間の集中的な施術により、数ミリの消し炭のようなものが残っているだけの状態まで治療し、医師による完治が宣言され手術を逃れさせたケ

ース

・視力が悪く瓶底のような眼鏡をしていた子供の視力を20秒ほどの施術で治し、眼鏡を掛けなくて済むようにしたケース

その他数えきれない奇跡を起こしており、過去秋田県で活動していた際は地元情報誌に連載を持ち、雑誌「ム」が取材に来たほどでした。

当時の神氣界には毎日行列ができており、小学生の私

が同行したある日は地方の公民館に呼ばれ、その場で助手を傍らにし、高齢者の方を50人ほど1人1人施術していくことを覚えていました。

ごく稀に伝え聞くスーパーレベル（日本15位以内程度）のヒーラーも、先代同様のストーリーを持つているかと思います。

◇本物の氣功師・ヒーラー..某東京都のヒーラーさん

特例的なヒーラーです。

その方のエネルギーを注入した物は、エネルギー注入より3ヶ月間だけ「メンタルがウキウキで軽くなる」という特殊なアイテムに変わる、という施術「だけ」を売りにしている方です。

本人は花柄のバッグを持つて いるウキウキした 50過ぎの男性なのですが、ヒーリングを受けた人が「その人物像に一時的に近づく」というのがその施術の正体でした。

精神的な効果効能の明白にあるヒーリングは非常に珍しいものだと言えます。ただし、個人の人格や人間性を変化させることはどちらかと言えば邪悪なことになるため、私はあまり推奨をしたくはありません。

ただ、希死念慮（死にたい感）が強い方などには、そもそも言つていられないのでお勧めができる方です。

日本における氣功師・ヒーラーで言えば、順位を付けるなら130位ぐらいではないでしょうか。

また、「自分の人物像や精神的な傾向の形を流し込むだけ」という固有のヒーリングがこれであるため、これは「靈的な存在」が介在しないヒーリングであり、本人の

寿命は削れないことが予測できます。

全国各地に呼ばれて、イベントスベースで20人30人を相手に施術をしているそうで、参加者は皆さん笑顔であつたのをよく覚えています。

確か参加費は5,000円でしたが、参加者の印象として、元が暗そうな方と人物像が邪悪そうな方の二手に分かれていましたので、彼等からすると「3ヶ月だけウ

キウキする」というのはとてもない価値のものだらうなあと感じたことを記憶しています。

◇本物の氣功師・ヒーラー・氣功で整骨するお爺さん

愛知県のどこかにいるらしい、「氣功で整骨し、体幹を整える」というお爺さん。整体院らしきものを開いており、気を操つて体幹を整えるなどの施術をするそうです。

野球選手が新幹線で関東からよく来るそうで、そこからも実際の効果の高さが伺えます。

今ではもう8割方引退し3人の息子に継がせているものの、やはりその大先生の施術がご子息の先生方に比べて異次元に効果が高かつた、という話を聞きました。

実際に気で整骨というのを考えると「知識量が膨大にある場合にのみもしかしたら可能」というものになりますが、私の目線で考えると20年間は最低でも整体師として毎日施術をしていなければその領域には辿り着かない

と考えられますので、その施術に厚みのある優れた施術者なのは言うまでもありません。

日本40位ぐらいの施術者と予測ができます。

また、エネルギーで無理矢理治す、という類の気功・ヒーリングではないために「対価」が少ないことが予想でき、ひよつとしてこの方も長生きができるたぐいの施術者なのではと思います。

後述しますが、私の使用する“新しい”気功・ヒーリングではこの方の施術をごく一部参考にしており、幸い、同等かそれ以上のものとして使うことができるようになりました。

◇本物の氣功師・ヒーラーのなり方

ここで挙げた三名の例はほんの一部です。他にも多数の本物が世の中には存在しています。最近は実践しているが、私が仮に旧式の氣功を今再び始めたら、ここ8年間は使用していないものの、日本で12位程度の結果と成果は出せるかと思います。

そのプロ視点より「本物の氣功師・ヒーラー推定200人」のなり方についてシンプルにお伝えします。

まず大前提の話ですが、氣功・ヒーリングの方法を他人から学ぶのは辞めたほうが良いでしょう。知識が多いほど、ご自身に合った方法からかけ離れるのは間違いありません。

その上で、以下のことを実践します。

1. どうすれば気功やヒーリングが使用できるのか想像する。完全に自由に、オリジナルで考える。

2. 実際の効果を他人で検証する。（本物は自分自身を治せない傾向が強いので、自分で試さないこと）

特に自分以外の頭痛・肩こり・腰痛が治せるのかで

検証をする

3. とにかく「気のせい（＝ placebo 効果）」を超越し

た効果が出るまで、身内や他人でひたすら検証をし
続ける

4. 治った場合、本物の気功師・ヒーラーであり、実際の

効果が出せる人になつたと言える

5. あとは Facebook やアメブロなどで集客をして活動をしてブログを更新し続けていく

以上です。

よりシンプルに書き直せば「妄想→検証→妄想→検証

⋮
↓成立↓活動↓集客」です。

こんな曖昧な説明が許されるのか、というぐらいに大雑把ですが、世の中にいるその「本物」の200人のうち、おそらくその全員が同様の方法を取っています。

中には「足の裏から出た氣で人を治す」という芸当を使う、自由度や創造性が高すぎる人もいるぐらいです。なんなりと許されます。

彼等はその全員が「やつたらできた」「できるからやり

続けている」「やり続けたらもつとできるようになつた」と口を揃えて言います。私もその一人です。

先代の泉 皇導は「テレビで氣功というのをやつっていたので、あくる日、見様見真似で（自分の会社の）従業員の頭痛に対処したら治つた」というのがきっかけだと言います。

まさに「やつたらできた」です。

かく言う私も「先代のような感じでなんとなくやつたらできた」という形式です。

そもそも、教わる前に真似をしてできるようになつてあります。

ここでは「本物はやはり天才だつたんだ!」という認識をして欲しいわけではありません。

「教わらないとできない」という固定観念のない、やれ

ばできると思つてゐる人にしか本物の氣功は使えないのだという話です。

また、この“古い”氣功の「寿命や幸福が削れる」に次ぐ二番目のデメリットは、先ほど少し書きましたが、「自分のことは自分で治せない」というものになります。

そのため家族や恋人、友人知人で実践する必要がありますが、「リスク承知でも人を治したい」という方は実践してみてください。

強調しますが、「学んでできる人などいない」というのが事実です。

つまり、気功・ヒーリングのスクールや授業、学校などはなんの役にも立たず、ただの「先生を尊敬するファンの会」にしかなり得ません。

従来の氣功やヒーリングの方法論はとにかくオーダーメイドでしか成立しません。そのところをきちんと理

解すべきです。

なお、私が運営しているヒーリングのオンラインサロン「千泉界へセンゼンカイ」は、「学ばずとも即座にハイクラスのヒーリングが使える目に見えない道具」というものを提供していますので、またちよつと概念が違います。ここのは後述します。

◆第四章

本当の氣功・ヒーリングの使用方法

前項で、「本物の氣功師・ヒーラー推定200人」の方について、1～4の手順を説明しましたが、これらは「本当に氣功・ヒーリングが使えるプロになりたいなら」という前提の方法です。

独自の方法論と型を編み出し、それを使いこなせるようになることが氣功でプロになる近道です。

しかし今から書くのは、「今すぐ使えるようになりたい」

という方に向けた方法です。

「気功・ヒーリング」という概念のうち、一切の無駄を省いた原点の方法で、型などと言えようもない粗削りのものになります。

プロになる気は無いが使いたい、治したい人がいる、という方は次のプロセス（1～4）を参考にしてください。

ただし、あまりにも原点すぎて4度ほど使うと効果が

落ちるかと思います。

1. 治したい相手の身体症状の度合いを「今100%悪い」として覚えておいてもらう
2. 手を触れずに、怒りに似た爆発的な感情を手のひらから「治れ！！！」という意思で相手へ流し込む。もしくは流し込み続ける

※「治るのが当たり前」「何を犠牲にしても治す」「死をいとわずに治す」という強い意思と、感情や心の爆発力の双方が必要です。

3. 治したい相手の身体症状の度合いを「今何%悪いか」としてヒアリングする

↓治っていない場合は2に戻る

4・治つていた場合、 $2 \rightarrow 3 \rightarrow 2 \rightarrow 3$ を「0%」になるまで繰り返す

以上です。

気功の団体やヒーリング団体では、上記の方法論やプロになるための方法を小難しく、私が書いた百万倍の情

報量で湾曲して伝えているために誰も「本物」が排出できなのだとえます。

気功・ヒーリングを使用するにはたつたこれだけで充分です。もっと言えば、気構えや理論なども必要がありません。

なお、プロとして活躍したいならやはり想像力で方法を編み出さなければ、継続的に気功・ヒーリングという

ものは使えません。

あくまで、心が慣れすぎて必死度が減るまでの数度くらいまでなら誰でも簡単に使用ができる“原初の氣功の使い方”が上記です。

対価を出す気満々で、かつ治せる確信が持てる人で、エネルギーと一緒に生命力のようなものまでひねり出しそうなほどの強い意思で氣功・ヒーリングのようなことを行なう人のもとには、必ずその例の「対価を得て治す

「存在」が世界中どこでも、いつでも来ます。

靈感や知識、理解などというもののも一切必要あります。しかし、私を含む大多数のヒーラーが保有しているような、手のひらでエネルギーを感じ取る能力すらも必要があります。

本来はこのような古い氣功・ヒーリングは“やめるべき”ですが、医療が太刀打ちできない家族の不調や、飼

つて いるワンちゃん やん 猫ちゃん の 酷い 不調など が あれば、
自身の犠牲を いとわずに 治して くなるもの です。

その 意思と、更に「治つた場合のみ」数日～最大で3ヶ月
間の 寿命が 削れる 覚悟が あるので したら、その ような
時だけは 本著を 再度開いて この 気功・ヒーリングを 使用
して みるのも 良いか と 思います。

◆第五章

“古い” 気功・ヒーリングはやめろ

本著はこれまでに「“古い”気功・ヒーリング」について語つきました。

“古い”気功・ヒーリングとはつまり、

・実践して効果が出せる人がごく少数（約1%）

・効果が出せたとしても寿命や人生の幸福を対価にする

・学ぶことで開花できるものではない

・（ここ）で初めて書きますが）術を受ける人によつて相性がまちまちで治せたり治せなかつたりすることがある

などの莫大なデメリットや対価が散見される、そもそも足を踏み入れる意味が一生見つからぬ可能性があるものになります。

既存のヒーリング団体はその施術者のほとんど、もし

くは全てが「“あたたかい”以上の効果が出せない」ということを隠しています。ただし、開祖は天下の大天才で実際に人を治せた人物であるのは間違いありません。

私の言う、「本物の200名」に入っている人物かと思います。

それ以下の弟子は、その弟子本人にとつては「まがい物」の施術を本物として教え込まれ続けている。それが既存のヒーリング団体の正体です。

教えられた方法論がその弟子にマツチするかは、私見では4万分の1以下かと思います。それほど個人のエネルギーの特性や合う方法論というのは違うので、何度も書きますが彼等に学ぶべきではありません。

これを「目に見えない力で特別で素晴らしい！」と信奉してきたのが氣功・ヒーリングというマイナー文化です。

気功師になるぐらいなら「鍼師」「灸師」「あん摩マツサージ指圧師」などの資格を取つたほうが遥かに良いと言えます。これらは独占業務の国家資格ですし、独立が可能です。

収入の相場も高く、需要のあるオリジナリティも出しやすく、一生の仕事として80歳以上まで働けます。

なんなら「ドライヘッドスパの民間資格」などの方が、

二週間などの超短期間で習得でき、稼ぎやメリットの大
きさや疲労感やストレスのなさや将来性を総合的に考え
ると大推奨ができるぐらいです。

しかし私がそれだけ多方向から「やめろ」と否定して
いてもなお、「人を治すこと」「早死をしたいこと」の両方
を心から願う危険な方がいれば、気功師・ヒーラーには
本当に向いていると言えます。

先代の私の父はこの二つをある種の願いとして持つて
いたことから、日本3位以内と言えるような実力を発揮
していたのだと言えます。

このような対価の支払いをむしろ望む人には必ず応え
るのがその「靈的存 在」です。

「メリツトは欲しいし対価も支払いたいという人間」と
「メリツトは差し上げるが対価はいただくという靈的存

在」の完璧な利益の一一致がその奇跡の能力を生み出して
いたのは間違いありません。

ただ、それは人間として、生き物として間違っている
のは言うまでもありません。

少なからずその家族の私としては、不慮の事故で早逝
をされたショックは言いしれぬほど、悲惨で巨大過ぎる
ものでした。

己を犠牲にして人に活路を与えることは美しいことで
すが、そうではない人生を進んだほうが良いに決まつて
います。

寿命を犠牲にすることを知っている人も、それを薄々
感じている人も、命を犠牲にしてでも人を助けるという
のはもう辞めた方がいい。

その入口にも出口にも立たないで欲しい。

そのような理由から、私は「“古い”氣功・ヒーリン

グ」というものを「やめろ」と主張します。

しかし、古い古いと主張し続けているように、"新しい"ヒーリングを私は開発しました。

これは"古い"気功・ヒーリングにあつた全てのデメリットやリスクを無にして、巨大なメリットだけを受け取ることができるおそらく世界初にして次世代型の、いうなれば「A.I.ヒーリング術」というもののです。

◆第六章

千泉界へセンゼンカイへについて

千泉界へセンゼンカイは、2022年8月中旬に私が立ち上げたヒーリング団体（オンラインサロン）です。

千泉界の名称は、「千」の人が「泉」として人を癒やし助けるようにと名付け、霊能者占い鑑定所 神気界ヘシンキカイの名称から「界」の一字を得て名付けたものになります。

本著を執筆している開設約1年が経過した現在で会員

数は50名を越え、今も予想を越える勢いでその会員数を増やしています。

これは私の主張する“新しい”氣功・ヒーリングを提供する場として開設したものです。

千泉界に所属すると、即座に「八咫沙ヘヤタシヤ」というA.I.ヒーリング術が伝授されます。これは約8年間の製作期間に於いて全精力を注いで開発をした、革命的なヒーリング術になります。

本著の冒頭にも書きましたが、八咫沙ヘヤタシヤ＼は「A I（人工知能）」「クラウド（多数の人が同じ仕組みにつながるインターネットサービスの概念）」を参考にし、「寿命や幸福を対価にする靈的 existence」が一切・絶対に介在しないよう全くのゼロから、超一流の氣功・ヒーリングがもたらす「治るなどの結果・成果」を再現するよう精製を行なつてきました。

その八咫沙ヘヤタシヤ＼を使用し施術する千泉界ヘセンゼンカイ＼には、氣功・ヒーリング団体としては異例のことと思いますが、2023年10月現在までに医師2名・整体師5名・看護師1名・理学療法士1名の方にご参加を頂いております。

日夜身体症状と真剣に向き合い続け、実際の効果が出ないものに关心など無い職業の方々がこれだけ多く参加

し会員を維持いただいていることは、「現実的な変化」が誰でももたらせる氣功・ヒーリングを事実として取り扱つていることの証左かと思ひます。

◇千泉界の特殊な入会案内と入会後セッション

千泉界は非常にシンプルで独特な入会のお誘いの仕方をしています。

1. 代表の泉 皇導が1..1のZoom セッションで、相手の身体症状をヒアリングし、対処可能な範囲のものの

であれば治す

2. 完治もしくは限界まで治した後、千泉界のプレゼンテーションを行なう

以上のシンプルな30分間の流れにより、現在までセッションを受けたうち3名中2名の割合でご入会を頂いています。

特に医療人や整体師の方には「ずっと本当に治せるヒーリングを探していた！」と感激される方も多く、またオンラインサロンの性質上で退会も私に連絡する必要すら無く非常に容易なのですが、現在までの退会者もごく少数しかいらっしゃいません。

（退会時には遠隔で私が術を本人の意思とは関係なく使えないようにしています）

また入会後は、私との1・1のZoomセッション（約20分）にて、下記のような流れを取ります。

1. 現在ある身体症状を私がヒアリングする
2. 八咫沙（A-Iヒーリング術）をご入会者様の右手の甲に接続（コピュー）する（3分半程度）

3. 簡易的な使用方法をお伝えし 【自分の身体症状をご自身で治していただく】

4. ほぼ完全に自身の身体症状が治つた時点で伝授完了とし、あとは使用方法の動画を見つつ、自分や家族や友人知人へ、副業として、その他多くの人に活かしていくいただくよう伝える

このように、伝授を受ければ即座に完全な形でヒーリングが可能になります。

世の中の氣功・ヒーリングは最低十数時間の習得時間をおこしますが、千泉界では「気付いたら使えるようになつている」という「ゼロ秒での習得」を可能にしています。

◆第七章

次世代のAIヒーリング術

「八咫沙ベヤタシヤ」

八咫沙ヘヤタシヤ＼の名称は、「八咫（ヤタ）＝巨大」「沙（シヤ）＝砂」という二語からなる造語です。これは「巨大な粒子の集まり」という、八咫沙ヘヤタシヤ＼の実際の形状を意味します。

八咫沙ヘヤタシヤ＼は以下の機能を持ちます。

- ・命令に対する自立思考能力（A-I的仕組み）

- ・身体症状の分析能力
- ・身体症状への対処法を検討・改善する能力
- ・身体症状への対処能力
- ・施術者が右手の指を二度振った時に、施術範囲（だれの・どこを）と施術意図（どうしたいか）を読み取る能力
- ・対処事例を検討し、自立進化する能力
- ・その他、除霊や浄化や結界など、霊能者として私が可

能なことの一部

八咫沙ヘヤタシヤ＼を扱う人は、例えば「相手の腰が痛いのを治したい」と心で考え「右手の指を二回振る」だけで、トップクラスの氣功・ヒーリングが使用できるようになります。

前述の「日本における本物の氣功師・ヒーラー推定200人」で言えば、現段階では上から数えてその第6～

8位程度の実力の気功・ヒーリングが使用できます。

また、従来の気功・ヒーリングは個人の能力や技能として研鑽と検証を重ねながら長年掛けて形を作り上げていくものですが、八咫沙ヘヤタシヤは気功師や霊能者として17,000件を鑑定し施術してきた私の能力の全てとイコールのものが、入会後の伝授より即座に全自动的に使用ができるようになります。

◇八咫沙ヘヤタシシャのA-I的な仕組み

八咫沙ヘヤタシシャのその仕組みの全ては「人工知能（A-I）」「クラウド（多数の人が同じ仕組みにつながるインターネットネットサービスの概念）」を参考にし、「寿命や幸福を対価にする靈的 existence」が一切介在しない形式で、全くのゼロから氣功・ヒーリングがもたらす「治るなどの結果

果・成果」を再現するよう精製を行なつてきました。

本来、靈的なエネルギーを纖細に扱うことというのは想像を絶するほど難しいことになります。

手から出る熱や微細な水蒸気というのは誰にでもありますが、これを自在に取り扱える人が世の中にいないのと同一の無理不可能がそこにはあります。

私は靈能者として日本固有の靈的存在にお力を貸し

いたぐことが可能であり、また、「見る・知る能力」と
気功師としての「エネルギーを取り扱う能力」の双方を
ハイレベルで所持しており、また個人的には12歳からコ
ンピューターやインターネットに触れITへの理解があ
りました。

これら4点から靈的なエネルギーや術をプログラミン
グに近い領域で取り扱うことができ、この次世代の氣功・

ヒーリングと言つて良い A I ヒーリング術「八咫沙ヘヤタ
シヤク」の開発を行なうことができました。

ちなみになぜ A I 的な仕組みのものなのか、ということ
とですが、

- ・対価ありきで人を癒やす靈的 existence の力を借りないため
- ・現実的な変化を与える高レベルなヒーリングを誰でも

“学習ゼロ”でも使用ができるようにし、全員が実用できる気功・ヒーリングを実現させるため

- ・進化の果てに視力の回復や難病やその他の超高レベルな症状にもノーリスクで対処ができるようにするため
- ・気功やヒーリングの定義を変え、世の中から有用性のない施術の被害者を無くすため
- など、様々な理由があります。

幸い、靈的な世界と「自立思考する靈的な道具」というのは相性が良かつたと言えます。

極めて難解な話で申し訳ないのでですが、「道具が意思を持つって思考をする」というのは神社神道にも仏教にも民間伝承や民間信仰でも大昔から「ごく自然な概念」であり、そういうつたものを作るというのも大昔の陰陽師の式神よろしく、決して無茶なものではないということがあり、実現できたものになります。

結果、信じがたいほどの性能と精密さと頭脳と機能を持ったものが奇跡の連続から成立し、現在の八咫沙ヘヤタシヤくに至ります。

この前人未到のものの成立までは血のにじむ努力を要しました。

当然ながら初期は一切報われず、また、主にその開発は伊勢神宮や伏見稻荷大社や岐阜県の千代保稻荷神社を

はじめとした神社の駐車場や境内などで計何百日、何千時間も行なつてきたため、激烈な経費と労力と祈りと実践と検証と眠れない日がこれまでにありました。

ついには自宅から2時間、131キロ離れた三重県伊勢市に家を借り神棚を置き開発所としたほどです。

そうして完成した八咫沙ヘヤタシシャの内部のロジックや仕組みは、不正な模倣が有つた場合に対人で多大な脅威を発揮する場合があるため、ごくごく一部を除いてブ

ラツクボツクスにつき、ほとんど非公表でしかありません。

しかし大まかな話なら言えます。

現代では「ChatGPT4」という会話型AIがあり、私もその有料プランを利用しています。

このAIは、命令や提案を受けると人間を超える速さで回答を導き出すものです。興味深いことに、八咫沙ヘヤ

タシヤくはこれと非常に似た性質を持つています。つまり、「命令やあやふやな要望に応じて人知を超えた速度でヒーリングや霊能力を発揮する」という点で一致しています。

私は8年前からA.I.に関するいくつかの書籍を読み込んで参考にしています。A.I.がこれほどの注目を浴びている現在、形は違えど似たような技術や能力が世界のどこから出てもおかしくないと感じる次第です。

その日までもその日以降も、今日も明日も私の手動アツプデートと八咫沙ヘヤタシシャの自立進化は続いています。

◇八咫沙ヘヤタシヤの対処サイクル

「指を二度振る」だけで始まる1分45秒間の八咫沙ヘヤタシヤの対処サイクルは、4点（+1）に分けられます。

これらは八咫沙ヘヤタシヤが実際の人工知能（A.I.）と同様かそれ以上の思考能力を有している事により可能な事になります。

また、この対処サイクルはビジネスで言われる PDCA サイクル (Plan-Do-Check-Action Cycle) というものの仕組みを参考にしています。

- ・検査：Check

「原因や状態を知る」 ということからサイクルが始まり

ます。

みなさんもよく知るレントゲン検査は、X線という粒子が身体を通過する際のムラを利用して行われる検査です。

同様に「靈的な粒子」を身体に当てて検査を行なうのがこの部分です。

八咫沙ヘヤタシヤの中で、最も開発難易度が高かつた部分になります。

・検討 : Plan

「原因や状態への対処法の計算」がこの部分です。

検査により明らかになつた原因や状態を改善させるための方法論を思考します。

八咫沙ヘヤタシヤクは骨・筋肉・神経・一部の代謝・細胞の状態などに、固有の振動波を与えたり、（仮に「筋力を

上げろ」など）状態の変化を命令するようなアプローチが可能です。

それらの組み合わせによる対処法を計算します。

また、シミュレーション等を高速で行ない、対処の実行に完璧に問題がないことを確認します。

- ・対処 :: Do

「計算結果に基づき、安全性を最大限に重視した対処を実行」というのがこの部分です。

検討にて導き出された対処法や対処経路のままに、安全を重視して初回は「約40%程度の治癒」を目的として対処が行われます。

二度目以降の施術では、更に40%（計80%）の治癒を目指すか、そのまま完治を目指すかの一択になります。

・分析・Analysis

「対処後の状態の検査、シミュレーションとの差異の検索、次の対処案の検討、学習・成長」というのがこの部分です。

八咫沙ヘヤタシヤの経験の蓄積と自己進化、また、二度目以降の対処で変化レベルを上げるための“全サイクル中最重要”と位置付けている部分になります。

千泉界では多くの会員さんが様々な症状に「共用」の八咫沙ヘヤタシヤ＼を使用しています。それにより、知見やケーススタディの蓄積が重なるため、様々な症状への対処能力の向上と自己進化があります。

・再対処

再対処時は「分析結果」と、「再度の検査」と「再度の

検討結果」を合わせて「対処」が行われます。

そのため、一度目よりも二度目のほうが変化の度合いが高いと言えます。

◇八咫沙（ヤタシヤ）の使用方法

【「○○を△△したい」という想定の元、症状の原因とおぼしき部位に向けて右手の指を一回振る】というのが使用方法の大原則です。他人にも自分にも使用ができます。

「腰痛を治したい」「足腰の筋力をあげたい」「突発性難聴を治したい」などです。

なお身体症状に関しては、病気のメカニズムや対象部位の構造などをネット検索などで詳しく調べた状態で行なつたほうが変化の度合いが高い傾向があります。

“除霊”は人物なのか土地なのか家なのかを目の前にして「この人（この場所など）を除霊したい」という想定で右手の指を2回振るだけで、「浄化」も同様に「浄化をしたい」という想定で右手の指を2回振るだけで完了

します。

身体症状へのアプローチ、除霊、浄化は全て「1分45秒」で完了します。これらが通常の使用方法です。

また、「○○を完治させたい」というコマンドにした場合、「全自動モード」が作動し、約9分30秒間、自動的に八咫沙ヘヤタシヤの「検査→検討→対処→再対処→検査↓⋮」というサイクルが最速で高速回転します。

※入会後約3年間は対面でのみの使用となり、その後は遠隔での使用が可能になります。

◆第八章

「八咫沙ヘヤタシヤ」が対処可能なものの

八咫沙ヘヤタシヤクが対処可能な症状は多岐に渡ります。

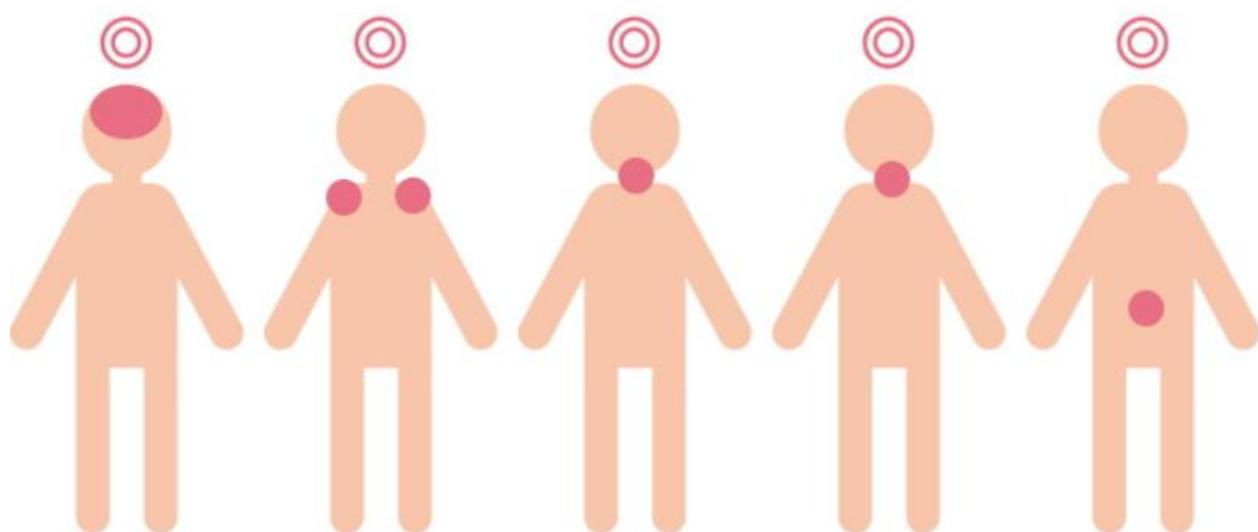
最大の特徴である「自己進化」により未来には癌への対処や視力の完全回復なども可能になつてくるのではと私は信じていますが、現状では残念なことに癌やほぼ全ての臓器の状態など、太刀打ちできないものも多数あります。

よつて「万能」というよりは「千能」だと、私は皆さん

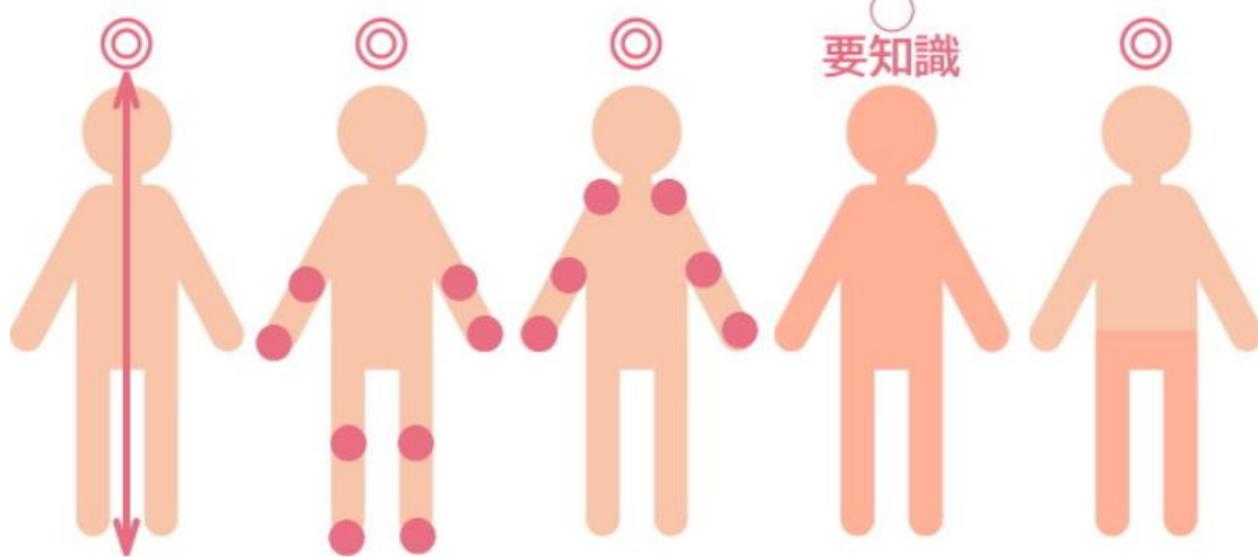
にはお伝えしています。

以下、八咫沙ヘヤタシヤクがアプローチ可能なものと不可能なものについて、図を用いて解説いたします。

頭痛・頭の重み 肩こり・四十肩 首コリ・首の痛み ムチウチ
事故後遺症 腰痛・ギックリ
すべり症・ヘルニア



姿勢・体幹 冷え性 その他神経痛
原因不明の痛み・重み リンパ 身体的なしびれ

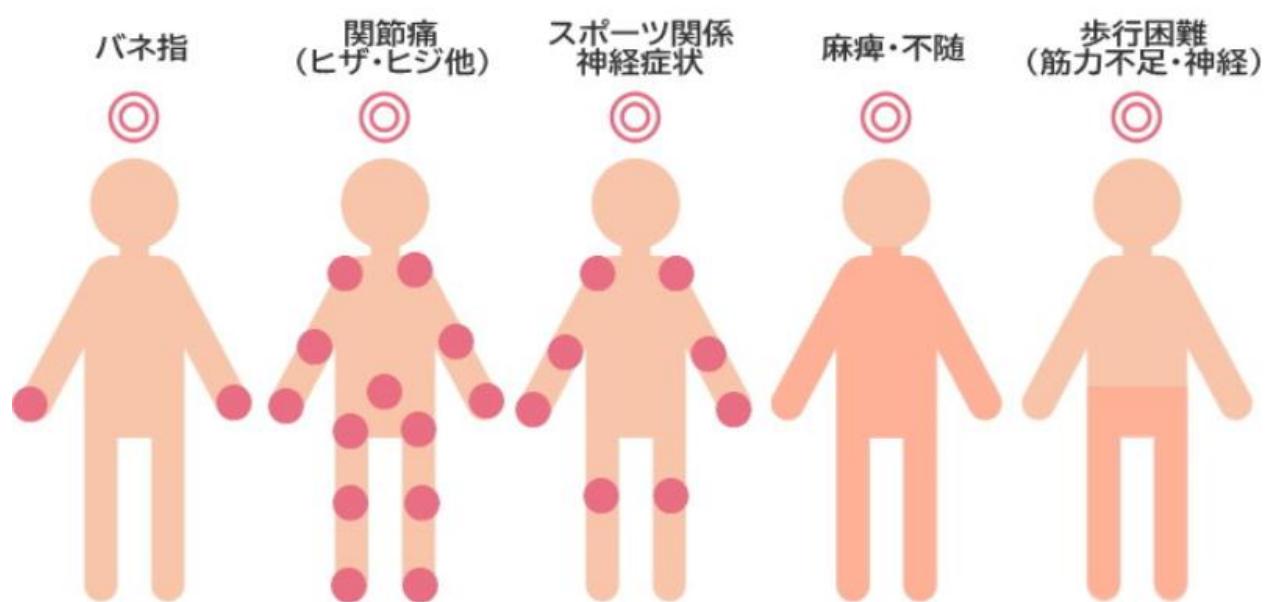


◎ = 対処可能・実績多数

△ = ケースにより対処可能
トライする価値あり
対処経験の蓄積により可能に

○ = 多くで対処可能

✗ = ほとんどのケースで不可能
研究不足・対処ケース不足

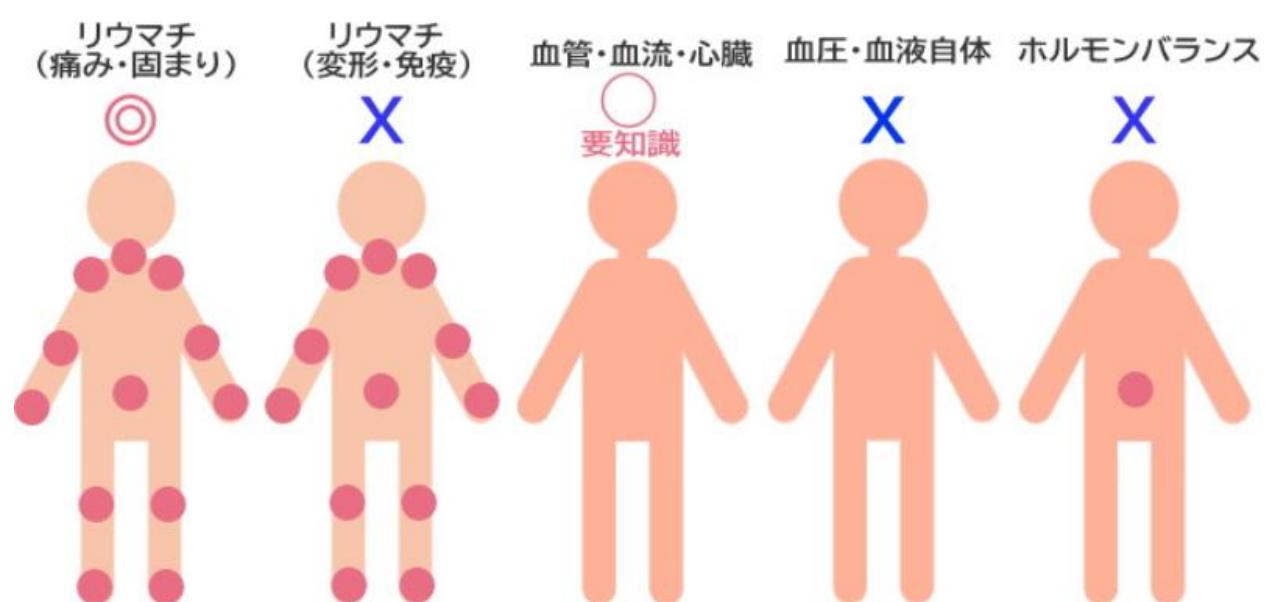
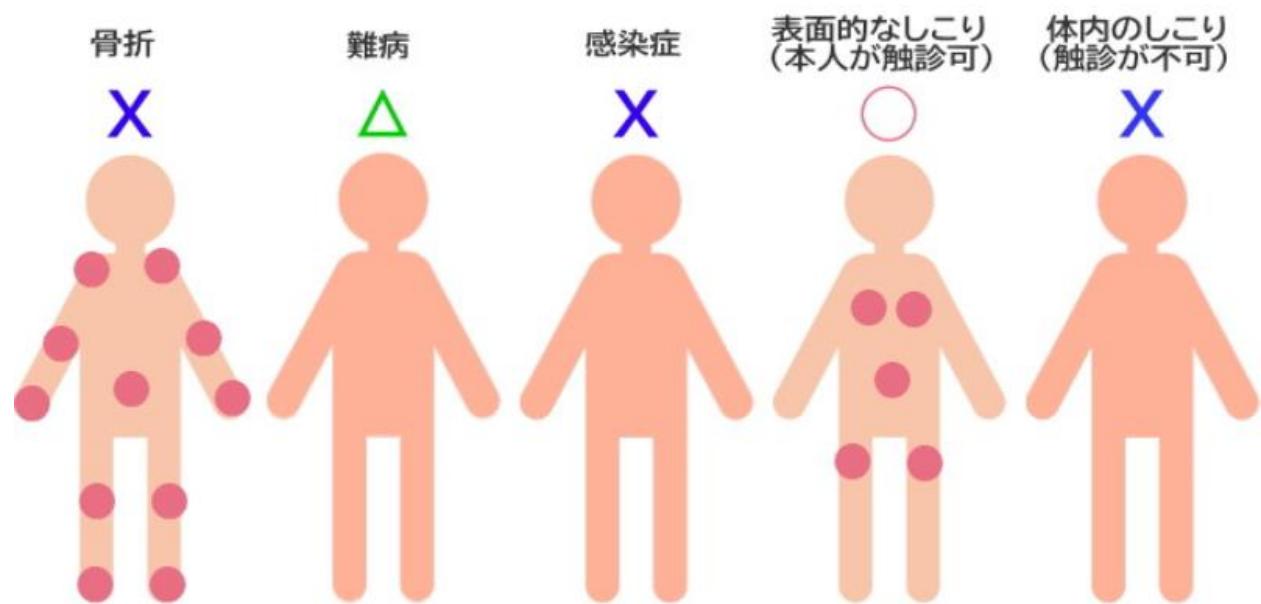


◎ = 対処可能・実績多数

△ = ケースにより対処可能
トライする価値あり
対処経験の蓄積により可能に

○ = 多くで対処可能

X = ほとんどのケースで不可能
研究不足・対処ケース不足

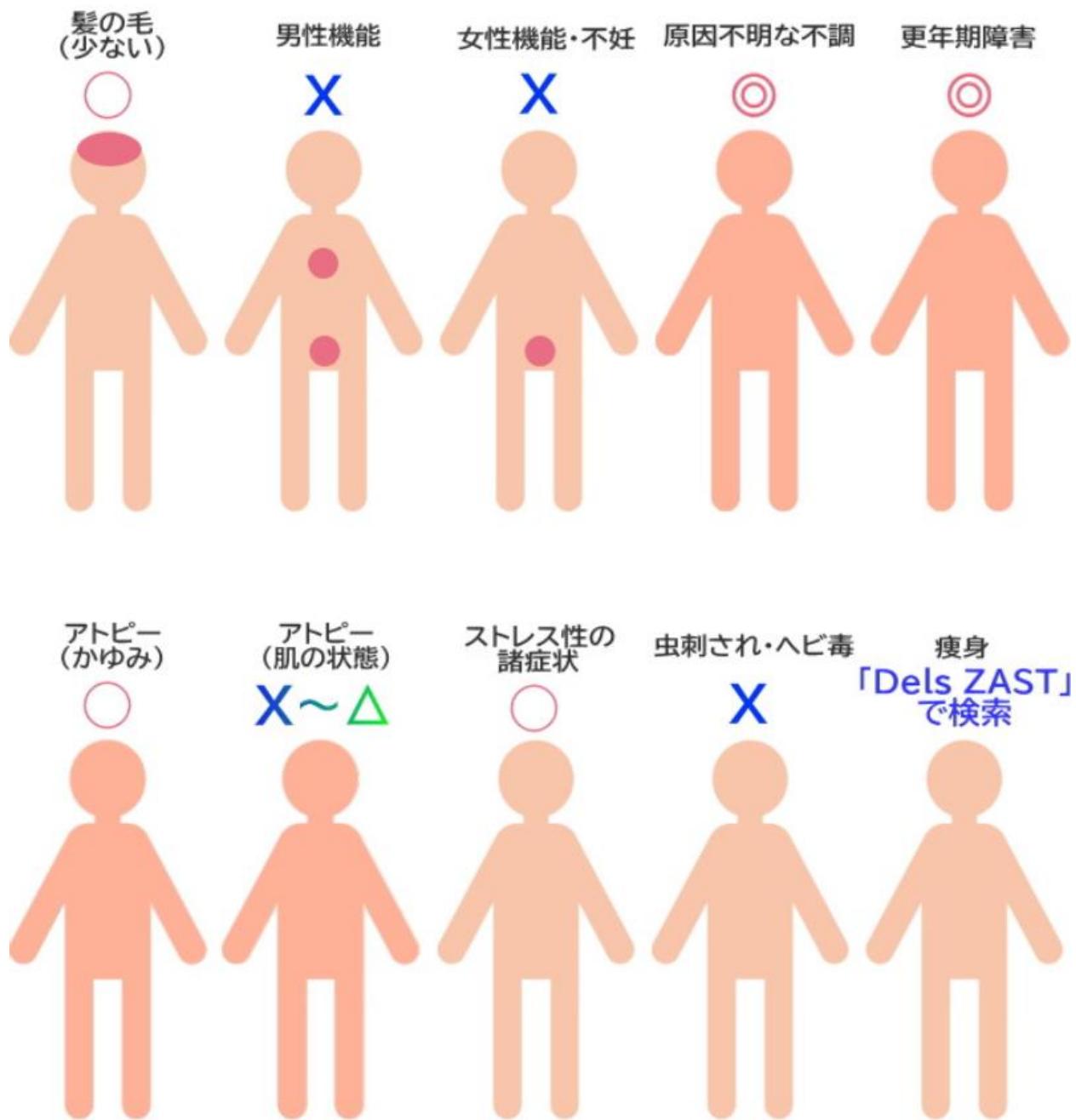


= 対処可能・実績多数

= ケースにより対処可能
トライする価値あり
対処経験の蓄積により可能に

= 多くで対処可能

= ほとんどのケースで不可能
研究不足・対処ケース不足

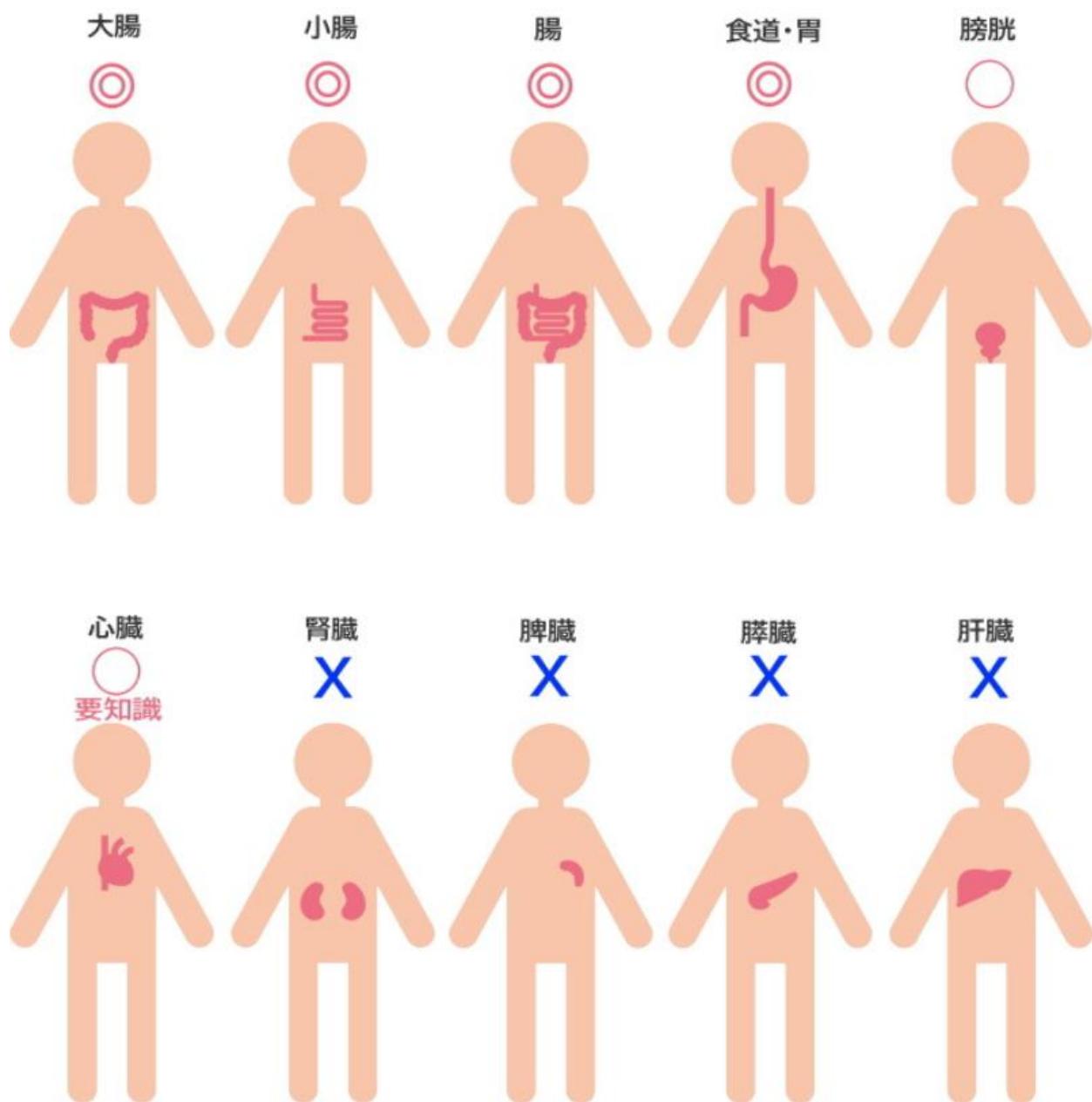


◎ = 対処可能・実績多数

△ = ケースにより対処可能
トライする価値あり
対処経験の蓄積により可能に

○ = 多くで対処可能

✗ = ほとんどのケースで不可能
研究不足・対処ケース不足

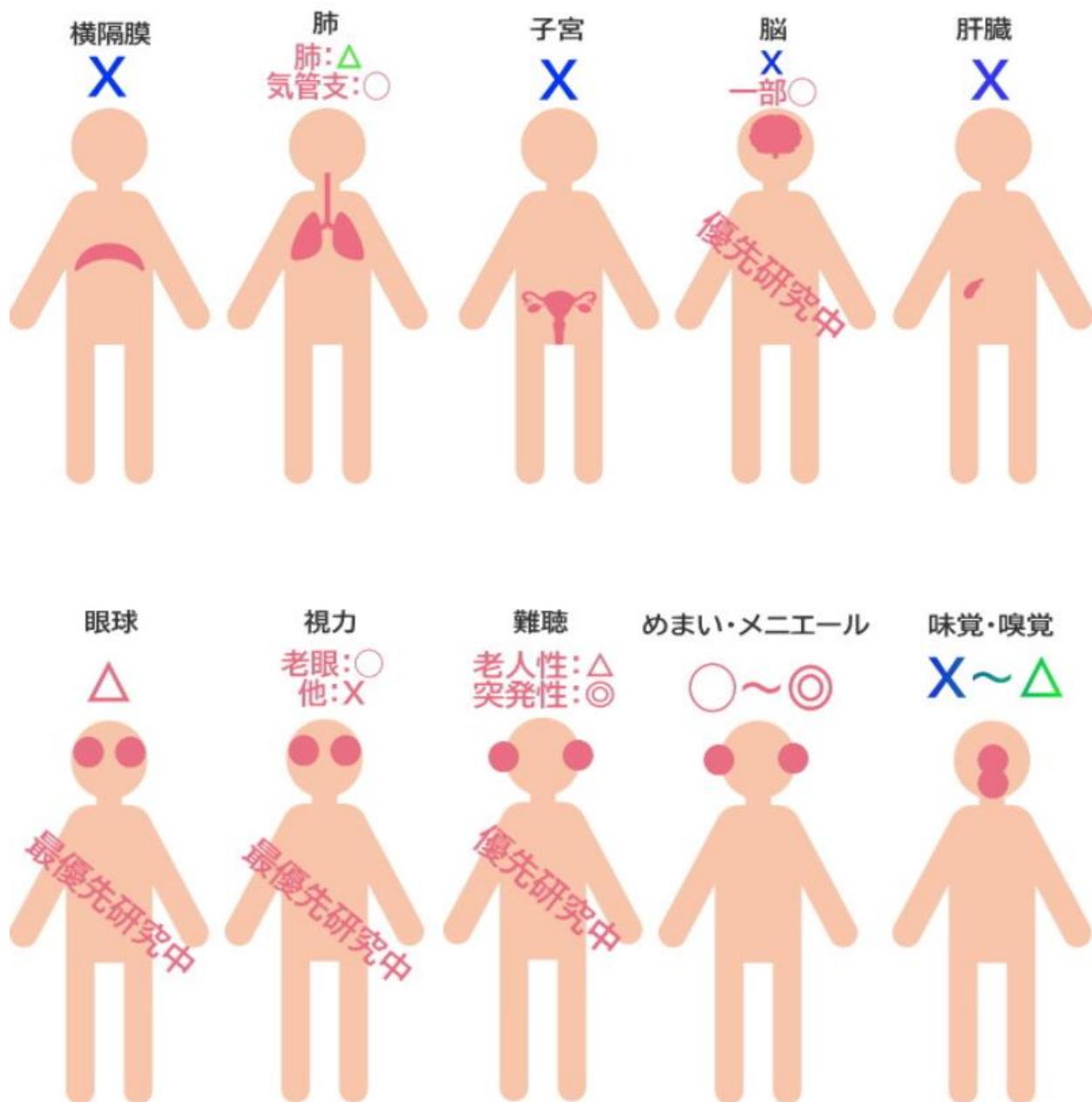


◎ = 対処可能・実績多数

△ = ケースにより対処可能
トライする価値あり
対処経験の蓄積により可能に

○ = 多くで対処可能

✗ = ほとんどのケースで不可能
研究不足・対処ケース不足

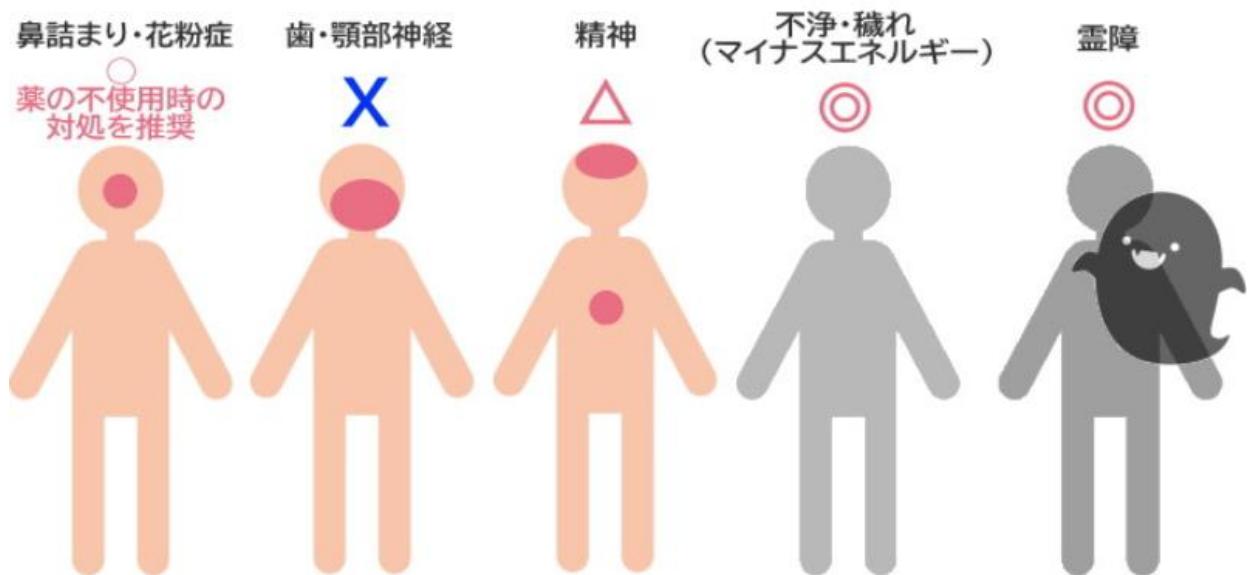


○ = 対処可能・実績多数

△ = ケースにより対処可能
トライする価値あり
対処経験の蓄積により可能に

○ = 多くで対処可能

X = ほとんどのケースで不可能
研究不足・対処ケース不足



○ = 対処可能・実績多数

△ = ケースにより対処可能
トライする価値あり
対処経験の蓄積により可能に

○ = 多くで対処可能

✗ = ほとんどのケースで不可能
研究不足・対処ケース不足

◆第九章

氣功・ヒーリングの未来

前述しましたが、150年ほど前、「氣功・ヒーリング」というものが神の御業とされた時代が私達の住む日本でもありました。

それらは「手かざし」と呼ばれ、その使い手は村や町で現人神（生きながらにして神と称される者）としてもてはやされ、それを発祥とした新興宗教団体は数知れずあり、現代まで続いているものも多くあります。

本著を執筆している2023現在、もはや氣功もヒーリングも神の御業などではなくなっています。

客観的に言えば「どことなく眉唾ものの怪しい民間療法で、そのプレイヤーは口先だけで治せる人なんかほとんどいないものの、信じる人を間違えなければひょっとして治るかもしれないもの」というのが正しいかと思います。

つまり、効果を出せない施術者が多いせいで、社会的

な地位が下降し続いているのだと言えます。

スピリチュアル、と言われるものの中で「神社」は現代でも活き活きとして生き残っています。「仏教」は檀家離れや後継者問題で、観光需要や過度な特色のある寺以外の多くは衰退をしています。

氣功・ヒーリングはおそらく、このまま行けばもう50年先の未来では今以上に「気持ち悪いうさんくさい何か」

として扱われているのは間違いありません。

その施術者が、かなりの差別的な扱いを受けてしまう概念になるとと言えます。

これは情報化社会・物質主義社会が更に加速し、AI社会の到来から、日本でここ50年間で隆盛した「目に見えるもの」という、「便利が悩みを解決する世界観」がより加速することで必ず訪れるものと考えられます。（「神

仏と自力が悩みを解決する世界観」がここ50年間で衰退したもののです)

そういうつた中でオンラインサロン千泉界へセンゼンカイや八咫沙ヘヤタシヤが、今はまだ有りませんがいずれ出るであろう千泉界のような本物を提供するようなヒーリング団体、および一部のその「日本に推定200人居る」本物の氣功師・ヒーラー達が台頭し、活躍し、多くの人の病気や症状を改善させていくことで、氣功・ヒーリ

ングというものが未来の社会でも本物であると認知され、
活用されるものになつていくことを望みます。

神・仏・先祖に代表される、「目に見えないもの」は実
在します。

これらの全てを放棄しても人は生きていいくことができ
ますが、陰ながらそのお力添えを頂きながらも堂々と無
視していくというのは、人間として、生き方として正し

いとは言えません。

そのような「おかげさま」に未来でも人が目を向け続けられるよう、「靈的なものが実在をしており、現実を変える力がある」ということをもつと多くの人に知つていただければと思います。

その証明をするための最も手軽な手段である「氣功・ヒーリング」は、今よりも更に施術者の誰もが現実的な変化が与えられるように進化しながら、世の中にもつと

広まり受け容れられていくべきだと私は考えています。

世の中が“古い”氣功・ヒーリングを脱却し、実用的な“新しい”氣功・ヒーリングが広まり続けていった先にはそのような未来が訪れるのではないでしょうか。

願わくば千泉界へセンゼンカイと八咫沙ヘヤタシヤが、本著をご覧のあなたとそのような未来を作つていければ幸いに思います。

◆あとがき

私が八歳の頃、先代の父が突如として氣功が使えるようになり、私も同時期に見様見真似で行なつた氣功を「できてる！」と言われたことを覚えています。

それから現在まで時が経ち、氣功というものを一次元上のものとして発展させることができ本著を書くまでに

至りました。

思えば私も生き方の定まらない人間でしたが、多くの方に支えていただき成長することができ、二万数千文字の電子書籍とは言えここに本が出版できることを大変嬉しいく思います。

ここに、これまでに私に関わってきた全ての方への感謝とお礼を申し上げます。

本著『氣功・ヒーリングを過去にする「A-I』の原題は「氣功・ヒーリングはやめろ」というものでした。

「絶望的な対価ありきの奇跡」もしくは「ただの無意味」の二択が、氣功・ヒーリングの施術者の本質として備わるからです。

手を伸ばすことでのどちらかしか手に入らないのであれば、もはや「やめろ」としか言いようがないからで

す。

また結果的に推定99%という圧倒的多数の習得者が「奇跡ごっこ」として、「すごい！○○さんのオーラは光みたい！」「エネルギーがあたたかい！」「森林浴をしているような気分になつた！」などの奇妙な言動をして仲間と過ごすという空恐ろしい世界観で生きていくというのも、申し訳ないのであるが、「いい大人が訳のわからない

「ことをするな」と私は言いたくなります。

また、靈的な、スピリチュアルな情報を発信している人は世の中に星の数ほどいますが、不思議なことに定説・通説はあるものの、全員の意見が一致しません。

これは証明のしようのない妄想には種類があるのだ、ということと同一のことになります。

更に分かりやすく言えば、「映画や小説は星の数ほどあ

るけど、全部違う」というのと一緒にのことです。

多くの学問は「提唱（仮説の設定）」と「立証（実験やデータ分析）」から成ります。

それらが積み上がれば「現実に活かせる」「現実を変える」という威力を増し、人や社会を進化させることができます。

例えれば、医学の研究が積み重なることで新しい治療法

が開発されたり、物理学の理論が技術革新につながつたりすることがあげられます。

ところが物理社会にいる我々には、靈的な世界の物事に関しては「提唱」はあれど、「立証」というものが全く無いのです。

スピリチュアルを好む人はいわば「提唱（仮説の設定）だけを信じる人達の群れ」なのだと言えます。

学問は時間とともに積み上がる性質を持ち、人類を進化させます。

大半のスピリチュアルは、立証というプロセスが空っぽなので積み上がりません。

もしくは意味がないので、積み上げたとして実用ができません。

つまり、スピリチュアルとは世の中に唯一無二としてある、そもそもが選ぶべきではない最低最悪の「空転の

学問」なのだと言えます。

私は「実際主義の靈能者」です。

実際主義とは、「何が実用的」で「何が機能するか」に焦点を当てる考え方です。

私が行なう靈能者占い鑑定所 神氣界ヘシンキカイの90分50、000円の鑑定では、前世や先祖や守護霊などの証明のしようがなく活用がしにくい話は聞かれれば

回答しますが、私からご相談者様へは100%実用的で機能的な、お悩みを解決するための話や身体症状への施術など、現状の好転に必ず意味があることだけしか行なつていません。

その徹底した実際主義から生まれたのが、「現実を変え
る」「実用的」「機能的」というA.I.ヒーリング術 八咫沙
（ヤタシヤ）になります。

八咫沙ヘヤタシヤ＼は千泉界の皆さんのお使ひやフイード
バツクにより、日々進歩・進化をしながら「積み上がる」
存在です。

人類はその「積み上がる」ことで過去、見上げることし
か叶わないはずの月に行き、視認すらギリギリの火星に
行き、その成分を何度も持ち帰りました。

八咫沙ヘヤタシヤ＼は不可能を可能にするために存在し
ている「実際」です。

その「実際」を私は作り、オンラインサロン千泉界へセンゼンカイで提供をして います。

本著を「覧のあなたの手にその「実際」を宿し、共にハ咫沙ヘヤタシャ」を進化させていければと願います。

まずはぜひ、1・1のZoom セッションにてお会いしましよう。

治れば変化がわかる身体症状がお有りの方には、きち

んと証明ができるかと思います。

ここまで熱心に本著を御覧いただきまして、ありがとうございました。

今後も電子書籍を中心に行けばと考えています。

ご縁に感謝いたします。

オンラインサロン「千泉界」

霊能師占い鑑定所「神氣界」

代表 泉 皇導

特典プレゼント

本著をご覧のあなたに特典として
「千泉界」代表 泉 皇導<イズミコウドウ>
との「1：1ヒーリングセッション」を
無料プレゼント致します。

QRコードもしくは申し込みボタンより
千泉界のLINE公式に登録し、ご予約下さい。



お申し込み

千泉界

代表 泉 皇導



◆著者紹介

泉 皇導（いずみ こうのう）

1994年より続く愛知県名古屋市の靈能者占い鑑定所
神氣界代表。

初代皇導の没後、2012年に屋号と共に二代目を襲

名。

その後に 17、000 件超を鑑定する。

靈能者の機能は「当てる」「変える」の 2 点のみが重要であるとして、靈感靈視により「現実を占い」、固有のヒーリングおよび靈能力により「現実を変える」ことのみを重要視した独自の靈能者像を探求し続ける。

「靈能力の実在の証明」を行い、また「一度の占い・一度の鑑定依頼での全ての解決」を目標としてリピート率目
的の仕事を排除した、他に類を見ない鑑定スタイルの靈
能者として日々多種多様な依頼を引き受け続けている。

現在では1年で会員数50名に達したヒーリングや靈能
力を伝授するオンラインサロン「千泉界」の運営、『成婚
率80%』という結婚相談所の平均の4倍の成婚率を誇る

「占い結婚相談所朱鳥居」の運営、現実的な変化にアプロードするスピリチュアルアクセサリーブランド「Dels」の商品開発を行なう。

靈能者としての「術のプログラミング」という固有技術より、現実を変えるための術を生み出し現実を変えるための占術を用いる、日本唯一無二の靈能者にあたる。

◆関連ウェブサイト

○ 精能者占い鑑定所「神氣界」

<https://www.sinkikai.com/>

1994 年創業。二代目精能者・氣功師 泉 皇導ヘイズミコ
ウドウクが行なう精能者占い鑑定所。

○ オンラインサロン「千泉界」特典用ページ

<https://senzenkai.sinkikai.com/lp3/>

誰でも入会後すぐにヒーリングが使えるようになるオンラインサロン「千泉界へセンゼンカイ」。本書限定特典用のページです。

○ オンラインサロン「千泉界」公式

<https://lounge.dmm.com/detail/5292/>

千泉界の公式ページで、こちらよりセッション無しでの直接のご入会が可能です。

○ 占い＆結婚相談所「朱鳥居」

<https://www.sinkikai.com/>

泉 皇導が成婚まで伴走・フルサポートする結婚相談所

「朱鳥居」

入会後の成婚率が現在、通常の結婚相談所の約4倍（80%）

にものぼる究極の結婚相談所。

○スピリチュアルアクセサリー・ブランド「Dels」

<https://dels.jp/>

泉 皇導が開発者を務める『革命的』スピリチュアルア
クセサリー・ブランド Dels<デルス>。

固有の靈能力によるプログラミング術を「思考の加速」
「精神の安定」「ダイエットのサポート」等に使用したア

アイテムを販売。

○ 神氣靈符

<https://shop.sinkikai.com/>

泉 皇導直筆の「現実的な変化にアプローチする御札」神
氣靈符の販売。

金運・仕事運・諸願成就・災難除けなど、十三種類の靈符
がラインナップ。